

# 市議会だより

No. 218

平成25年9月1日

編集・発行 島原市議会だより編集委員会  
島原市上の町537番地  
TEL 62-8027 FAX 64-6588

ホームページアドレス <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/>



「島原水まつり」桜門公園会場の番傘イルミネーション点灯式では、島原農業高校生による和太鼓演奏が会場を盛り上げました。

## 平成二十五年 六月定例会

議長に 本田順也議員  
副議長に 永田光臣議員  
が就任

一般職の職員の給与を九カ月間、平均七・四二%減額する

一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例を可決

### おもな内容

正・副議長就任あいさつ	二ページ
全国市議会議長会表彰	二ページ
新しい委員会の構成	二ページ
議会選出各種委員等一覧	三ページ
平成二十五年六月定例会の概要	四ページ
議会ひとくちメモ	四ページ
会期日程	四ページ
市政一般質問	五ページ
委員会活動	十二ページ
四月臨時会の概要	十五ページ
議会のつごき	十五ページ
四月臨時会、六月定例会付議事件	十六ページ

# 正・副議長就任あいさつ



本田 順也 議長



永田 光臣 副議長

市民の皆様には、日頃から、市政並びに議会活動に対し、深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

このたび、私どもは議員各位のご推挙により、市議会議長並びに副議長の要職を担うこととなりました。誠に身に余る光栄であり、その職責の重大さに改めて身の引き締まる思いであります。

社会構造の変化や長引く地域経済の不振により、本市が抱える課題も多く、とりわけ雇用不安や若年層の流出・少子高齢化の進展による人口減少が顕在化しており、行財政運営の安定と市勢発展のための施策の充実が急務となっております。

また、地方分権時代を迎え二元代表制の一翼を担う議会には、議決機関としての役割を果たすとともに、執行機関に対する監視・評価を行い、積極的な政策提言に務めていくことがますます求められています。円滑な議会運営と市民に身近で開かれた議会を目指しますとともに、郷土「島原」を明るく住みよいまちとして発展させるため、議会一丸となって努力してまいる所存でございます。

市民の皆様には、今後とも議会への深いご理解と、市政に対するご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさついたします。

## 全国市議会議長会表彰

去る5月22日、東京都で開催された第89回全国市議会議長会定期総会において、濱崎清志議員が正副議長として4年以上の表彰を、本田順也議員が在職10年以上の表彰を受賞され、6月24日の本会議において表彰状の伝達を行いました。



濱崎 清志 議員



本田 順也 議員



# 新しい委員会の構成が決まりました

(◎委員長、○副委員長)

常任委員会	総務委員会	◎生田 忠照 種村 繁徳	○草野 勝義 永尾 邦忠	本多 秀樹 中川 忠則	本田 順也
	産業建設委員会	◎上田 義定 馬渡 光春	○松坂 昌應 松井 大助	永田 光臣 馬場 勝郎	山本 由夫
	教育厚生委員会	◎林田 勉 大場 博文	○島田 一徳 北浦 守金	清水 宏 園田 智也	濱崎 清志
議会運営委員会		◎本多 秀樹 大場 博文	○種村 繁徳 北浦 守金	松坂 昌應 中川 忠則	永尾 邦忠

行財政改革特別委員会	◎永尾 邦忠 林田 勉 本多 秀樹 種村 繁徳 北浦 守金	○生田 忠照 松坂 昌應 山本 由夫 濱崎 清志 中川 忠則	草野 勝義 清水 宏 馬渡 光春 大場 博文 園田 智也	上田 義定 永田 光臣 松井 大助 馬場 勝郎 島田 一徳
------------	---	--	--	---

## 議会選出各種委員等一覧

島原地域広域市町村圏組合議会議員	本田 順也 中川 忠則	濱崎 清志	馬場 勝郎	北浦 守金
県央県南広域環境組合議会議員	馬渡 光春	永尾 邦忠	園田 智也	
南高北部環境衛生組合議会議員	本田 順也			
長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員	永尾 邦忠			
長崎県病院企業団議会議員	種村 繁徳			
農業委員会委員	本多 秀樹	種村 繁徳	濱崎 清志	北浦 守金
個人情報保護審議会委員	清水 宏	永田 光臣		
行政改革推進審議会委員	草野 勝義	永田 光臣		
地域公共交通協議会委員	松坂 昌應	大場 博文		
地域公共交通会議委員	林田 勉	松坂 昌應		
民生委員推薦会委員	馬場 勝郎	島田 一徳		
農業振興地域整備促進協議会委員	上田 義定	山本 由夫	中川 忠則	島田 一徳
都市計画審議会委員	草野 勝義 園田 智也	生田 忠照	山本 由夫	松井 大助
島原都市計画マスタープラン策定委員会委員	清水 宏	本多 秀樹	松井 大助	
島原病院運営協議会委員	大場 博文			
社会福祉協議会理事	林田 勉			
島原城振興協会理事	馬渡 光春	松井 大助		
島原温泉観光協会役員	本田 順也	上田 義定		
土地開発公社理事	本田 順也	生田 忠照		
教育文化振興事業団評議員	濱崎 清志			



# 平成二十五年六月 定例会の概要

平成二十五年六月定例会は、六月二十四日に開会し、七月十一日まで十八日間の会期で開きました。

定例会初日の二十四日には市長から提出された議案の上程、説明の後、議長、副議長の辞職に伴う選挙のほか、任期満了に伴う議会運営委員会委員、各常任委員会委員の選任、行財政改革特別委員会委員の辞任に伴う選任を行いました。

「一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例」については、二十六日に議案質疑を行った後、総務委員会へ付託し、当日、総務委員会を開き審査しました。二十八日には総務委員長の委員会審査結果を受けて、委員長報告に対する質疑、討論を行い、採決を行いました。

六月二十六日から七月一日には、十三人の議員が一般質問を行い、一般質問終了後、市長提出の議案に対する質疑を行った後、各議案を委員会へ付託しました。

七月二日から四日及び八日には、各常任委員会及び予算審査特別委員会を開き、付託された議案等の審査を行いました。

最終日の七月十一日には、各常任委員長及び予算審査特別委員長の委員会審査結果報告を受けて、各委員長報告に対する質疑、討論、採決を行いました。

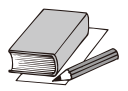
市長提出の議案は五議案を可決し、島原市教育委員会委員の任命については宮原照彦氏、森みずき氏に同意し、島原市監査委員の選任については馬場勝郎議員に同意しました。また、島原地域広域市町村圏組合議会議員及び県央県南広域環境組合議会議員の選挙、農業委員会委員の推せんを行い、委員会提出議案の意見書三件を可決し、議員提出議案の「島原市議会議員の議員報酬の特例に関する条例」は否決し、閉会しました。

## 議会ひとくちメモ (34)

### ○人事案件とは

地方公共団体の長が、議会の同意を得て選任し、又は任命する人事に関して、議会に同意を得るために提出する議案のことをいいます。

- 市議会の同意を必要とする人事には、①副市長の選任、②教育委員会の委員の任命、③監査委員の選任、④公平委員会の委員の選任、⑤固定資産評価審査委員会の委員の選任、⑥固定資産評価員の選任、⑦人権擁護委員の候補者の推薦、などがあります。



## 島原市議会の ホームページでは

議員名簿や会議の予定、議決結果などの情報や、本会議の録画放送を見ることが出来ます。



## 会期日程

六月	二十四日(月)	本会議	議案上程、説明
			正・副議長選挙、議会運営委員会委員・常任委員会委員・行財政改革特別委員会委員の選任
	二十五日(火)	休会	
	二十六日(水)	本会議	議案調査
		委員会	一般質問(二名)
			議案質疑、委員会付託
	二十七日(木)	本会議	付託案件審査(総務委員会)
		本会議	一般質問(五名)
	二十八日(金)	本会議	一般質問(四名)
			委員会審査報告、表決
	二十九日(土)		
	三十日(日)		
七月	一日(月)	本会議	一般質問(二名)
			議案質疑、委員会付託
	二日(火)	委員会	付託案件審査(総務委員会)
		委員会	所管事項調査(産業建設委員会)
	三日(水)	委員会	付託案件審査(教育厚生委員会)
		委員会	議事整理
	四日(木)	委員会	議事整理
	五日(金)	休会	
	六日(土)	休会	
	七日(日)	委員会	付託案件審査(予算審査特別委員会)
	八日(月)	委員会	議事整理
	九日(火)	休会	
	十日(水)	休会	
	十一日(木)	本会議	議事整理
			委員会審査報告、表決

# 市政のそこば聞きたか!!

# 一般質問

6月定例会で13人が古川市政を

問う!



掲載している内容は、6月26日から7月1日に行われた市政一般質問の要旨です。詳しい内容については会議録をご覧ください。

会議録は、議会事務局、情報公開室のほか市内各公民館や図書館でもご覧いただけます。

市議会ホームページでは、会議録の閲覧や検索、議会中継（生放送・録画放送）を見ることができます。

島原市議会ホームページ <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/>



新風会  
大場 博文  
議員

## ▼学校図書館の電子化について

Q 学校図書館運営の電子化に向けての取り組みはどう考えているのか。

A 学校によって導入ソフトの種類が異なっており、ソフトの統一を考えている。また、学校により状況が異なるため、各学校と協議しながら進めていきたい。

## ▼大型ごみの収集について

Q 大型ごみ収集の現状はどうか。

A 本市は、燃やせるごみはおおむね五十センチメートル以下の物、燃やせないごみはおおむね一メートル以下の物を収集し、それより大きい物は自己搬入、もしくは一般廃棄物収集運搬許可業者へ依頼している。大型ごみ収集の問い合わせがあった場合、その方の住所に近い業者をお伝えしている。

## ▼観光振興策について

Q 歴史的になじみのある急行列車「雲仙号」の名称を長崎新幹線の開通に合わせて

復活させ、本市並びに半島の観光振興につなげてはどうか。

A 観光、特にジオパーク等の取り組みは、半島三市が同じ立ち位置で、同じ価値観を共有すべきだと思っている。これからの島原、島原半島の観光、県南地域の観光、いろんな面から見て「雲仙号」は非常にわかりやすく、マッチしているという認識なので、今後、いろんなところでそういったことに取り組んでいきたい。

## ▼本市の各選挙における投票所と今後の選挙運動について

Q 投票率アップのために近くの投票所で投票できるようにできないのか。

A 公職選挙法により、その投票区ごとに選挙人名簿を編成しなければならないと規定されている。また、選挙人は選挙人名簿またはその抄本と、照合を経なければ投票できないという規定があるため、指定以外の投票所では投票できないとなっている。

Q インターネットを利用した選挙運動ができるようになったが、周知方法はどうか考えているのか。

A リーフレットを町内会に回覧して周知したいと思っている。



永尾 邦忠 議員  
公明党

### ▼DMV導入について

Q 島鉄廃止路線の活用案としてどうか。  
A 南島原市での南目線跡地活用の検討状況を見ながら、半島三市で研究したい。

Q 観光とジオパークへの活用で交流人口の増加を図ってはどうか。  
A 国において、DMV導入普及の方策等が検討されており、車両自体は話題性があり、利便性が高いものになっているようである。スムーズな運行が始まれば、沿線の観光や交流人口の拡大にも効果があるものと考えている。

Q 交通弱者対策及びイベント交流の利便性向上のために活用できないか。  
A DMVの導入により、鉄道とバスの乗りかえが不要になり、利用者にとって利便性の向上が期待される。本市も、国の検討状況等を注視し、半島三市で研究したい。

### ▼ピロリ菌について

Q 特定健診時にピロリ菌の検査導入と助

成への取り組みはどうか。  
A ピロリ菌の検査費用は六百円程度だが、市民の健康づくりにつながるため、行政負担等を含めて、引き続き医師会とも十分協議したい。

### ▼風疹ワクチンへの取り組みについて

Q 幼児期の接種確認はどうしているのか。  
A 平成二年以降の予防接種の記録を保存しており、申請により確認ができる。

Q ①本市の発生状況と、②ワクチン接種の助成はできないのか。  
A ①六月十二日現在、長崎県では十四件発生しているが、島原半島内での発生はない。②妊娠初期に風疹にかかると、生まれてくる子供に障がいが出やすいと聞いているので、今後の発生状況に関係なく検討したい。

### ▼中小企業の時給引き上げについて

Q 公共事業の労務単価引き上げに伴い、市が発注する業者に対し、労働賃金の引き上げをお願いできないか。  
A 労務単価が上がったことを周知していきたい。



中川 忠則 議員  
チームI

### ▼行財政効率化について

Q 合併後の行財政効率化の実績はどうか。  
A 第四次行政改革大綱に基づき、本年四月一日現在で、職員数を三十九人削減した。また、市議会議員も合併時の三十七人から二十一人へと削減され、浦田保育園の民営化等も含め、行財政改革による効果額は五億二千万円と試算している。

Q 営業部やセールス係の設置はどうか。  
A 営業力の強化をコンセプトに、わかりやすい組織、名称を考えていきたい。

Q マイナー制度導入による対応は。  
A 窓口業務のあり方として、非常勤職員の導入や、広域圏の電算システムの問題等も含めて検討していきたい。

### ▼がんばらば国体について

Q リハーサル大会の総事業費は幾らか。  
A 一億七千二百四万円である。

Q 来年の国体の総事業費は幾らか。  
A 約二億七千八百万円と試算している。

Q 国体関連スポーツ施設の建設費用は。  
A 平成町人工芝グラウンドと霊丘公園体

育館弓道場の合計で約十三億円である。

Q 国体の宿泊客数と経済効果はどうか。  
A 宿泊予定者は約一万九百人、経済効果は約二億四千六百万円と試算している。

### ▼運転免許証自主返納サポート事業について

Q 市の取り組みはどうか。  
A 七十五歳以上の方には、高齢者福祉交通機関助成券等を交付している。

### ▼浄化槽清掃の法定検査について

Q 本年度からの判定基準の変更内容と、し尿処理場建設への影響はどうか。  
A 放流水の水質が基準値内でも、一年に一回清掃をしなければ不適正と判定される。これにより、し尿や汚泥の処理量はふえると思うが、計画処理量の範囲内である。

### ▼教育問題について

Q 体罰やいじめのアンケートは、例えば「特定の人に対して、複数の人から悪口やからかい、おどし文句がありましたか」の質問に対して「ある・ない」で回答。「ある」と答えた場合「そのときあなはどの立場でしたか」の質問に対して「自分がされた・周囲で見ていた・自分がした」の中から複数回答するなど、掘り下げた質問をすべきだと思いが、取り組む考えはあるか。  
A もう少し掘り下げた質問を考えていく必要があると考えている。





如水クラブ  
山本 由夫  
議員

### ▼島原市第四次行政改革 大綱実施計画案について

Q 養護老人ホームありあけ荘についてはサービスを維持向上しつつ、市の財政負担も軽減する民営化が可能だと思うので、公募等の手続きを早期に進めてほしい。

A 現在、公募条件、公募要領等の諸条件の検討を行っており、民営化の目標に向けて準備を進めたい。

Q 本市では指定管理者制度の導入により、経費の削減効果は見られるが、サービスの向上はよく見えない。利用者懇談会やアンケートを行い、その結果を公表するとともに、次回の評価の基準にしてほしい。

A 施設サービスの向上を図るため、利用者側から指定管理者の管理運営に関するモニタリングを行う仕組みを構築したい。

Q 指定管理者について、サービス向上の観点から、意欲と専門性を持ったより多くの団体・人が応募できるように、公募方法、職員の採用方法を工夫・改善してほしい。

A 民間的な経営という面から、経営のあ

り方、職員の採用について、公開性をもって取り組むべきだと思う。

### ▼物産流通対策について

Q 物産流通対策について、民間出身の本部長を中心に様々な新しい取り組みが行われている。まずは小さくてもよいので、目に見えるような成功事例を作ってほしいと思うが、見通しはどうか。

A 焼き物、酒、マダーボール、大玉スイカ、寒ざらし等、百貨店で小さなヒットが開始している。これらを中心に点から面へ展開し、「島原」を全面に押し出した売り場を確保し、大いに売り出していきたい。

### ▼市内の道路について

Q 長池三会線の旧地ビルから南側について、通学時の安全性の点から再三整備の要望が出されているが、見通しはどうか。

A 県にも要望を重ねており、費用対効果や県事業としての必要性等について検討しているという聞いている。

Q 湊新地臨港地区道路は、緊急時や防災上の観点、水産業の振興の観点から重要な道路だが、進捗状況はどうか。

A 本年四月に整備の要件である都市計画の臨港地区に指定された。県からは今年度中に事業に取りかかると聞いている。



市民の会  
草野 勝義  
議員

### ▼雇用・労働環境の対策 について

Q 事業所数と従業員数の推移はどうか。

A 十八年度と二十一年度を実施された経営センサスでは、三年間で事業所数が二百七十六事業所、約九%の減、従業員数が千九百七十七人、約十%減少している。

Q 求職者の意向をアンケート調査し、集約する必要があると考えるがどうか。

A ハローワーク島原とアンケート実施の可否やアンケートが実施できた場合の調査方法などを含めて協議してみたい。

Q TPP交渉参加による本市への影響はどうか。

A 十八年度の数値で試算した場合、産出額の減少は四十三億六千万円となる。

Q 農業を中心とした第一次産業の後継者育成の施策はどうなっているのか。

A 農業後継者就農奨励金制度や農業後継者団体への活動補助を行っている。

Q 農産物自給率向上の対策について、どのように考えているのか。

A 農地の基盤整備、耕作放棄地の解消などの対策や消費者ニーズに合わせた農産物の生産を図り、PRにも努めたい。

### ▼観光に関する施設の改善と対策について

Q 鯉の泳ぐまち通りの車両を制限し、十八銀行側の道路の一方通行を解除できないか。

A 地元住民の承諾や生活権、営業権に影響する可能性があり、実現に至っていない。

Q 水の街島原をアピールできる水遊び場を大手川上流に設置できないか。

A 新町二丁目の市有地に、湧水を利用した水遊びができるものを検討している。大手川は県の管理だが、河川管理上、川遊び場の設置は許可されないと聞いている。

Q 島原駅に身障者トイレを設置できないか。

A 設置スペースの問題や改修に多額の費用を要するため難しいと聞いている。

### 【その他の質問項目】

◇学校教育について

◇他の地方公共団体との関わりについて



青 鞆 昌 議員  
松坂 昌 議員

### ▼大手広場を含めた庁舎設計プロポーザルを

Q 大手広場の県道つけかえは可能だと考えるが、市長の見解はどうか。

A 県道つけかえの要件となる都市計画変更については、道路構造令への適合、現道並みの安全性・機能性の確保、交通管理者である警察との協議、道路管理者である県との協議などの条件を満足する計画であれば可能だと考える。

Q 合併特例債は五年間延長された。プロポーザル募集は庁舎建設だけでなく、ま

ちの構造も含めたものにしてはどうか。  
A プロポーザル方式とは、発注者が具体的な課題を示し、設計者がその課題に対する提案や方針を提出し、最も適した設計者を選定する方法である。道路つけかえに必要な都市計画変更を含めたプロポーザルにすると、提案後に県や警察と協議することとなり、スケジュール的にも難しいと考える。発注者である市が建設の場所や規模、スケジュール等を決定する必要がある。

### ▼島原鉄道の存続を

Q 上下分離方式の認識はどうか。

A 線路、駅、車両等の設備の保有者と、鉄道の運行を行う者を分離する方式である。

Q 北目線存続のための収支改善策として、島鉄が上下分離方式を導入し、設備の維持管理費は島鉄が負担し、設備使用料(固定資産税額の二十五%以上を目安)を市に納めてもらう方法はどうか。

A 運行事業者は固定資産税の負担がなくなり収支改善が見込まれる。自治体は固定資産税の収入が減るが、減収分の七十五%が普通交付税で措置される。

### ▼埋立地問題について

Q 大三東漁港横の埋立地について、現在に至る経過はどうなっているのか。

A 昭和五十五年頃から廃棄物処理施設用地として埋め立てが始まり、竣工認可を受けて旧有明町所有地となった。平成十七年に旧有明町議会において、漁協への無償譲渡に関する議決がなされている。現在は合併により島原市の所有になっている。

Q 大三東の埋立地を太陽光発電として活用した場合、採算性はあるのか。

A 面積が二・五ヘクタールあり、業者としてはメリットはあると判断している。



庶民の会 勉 議員  
林田 勉 議員

### ▼防犯灯の補助について

Q ①各地区の防犯灯の設置状況と、②新設の要件と費用負担はどうなっているのか。

A ①有明地区は八百三十一灯、三合地区は二百二十二灯、杉谷地区は二百九十九灯、森岳地区は五百三十二灯、霊丘地区は四百四十四灯、白山地区は五百八十五灯、安中地区は三百七十一灯である。②町内会、自治会からの申請により、現地の道路の形状や防犯上の面を精査し、九電柱、N T T柱または町内会、自治会により設置された小柱に設置している。小柱を設置する費用以外は、全額市の負担である。

Q ①全防犯灯の電気料金と、②電気代の補助はできないのか。

A ①毎月約五十二万円である。②設置費用は全額市の負担のため、電気料金は、各町内会、自治会で負担をお願いしたい。

### ▼職員及び市民から市政や市長への提案について

Q ①市民からの提案の状況と、②職員提

案制度の内容はどうか。

A ①二十四年度の意見の総数は二百五十二件であり、主な内容は、身近な道路や溝の整備等が中心であった。②宮崎県小林市は、気づきをたくさん下さいという提案制度にしたところ、九十八%の職員が参加し、千五百件の提案件数になった。本市も、業務上の気づきを数多く寄せてもらいたいということで、そのための条件整備の検討に入っている。

### ▼市のホームページをフェイスブックへ移行を

Q 一方的な市政の情報発信から、市民との情報の共有化につながるのではないのか。

A 双方向での情報交換は利便性を持った媒体だと感じており、若い職員と部署を超えて研究し始めたところである。しかし、フェイスブックは個人名も出るため、その危険性も検証しながら研究したい。

### ▼今年はどうなる敬老入浴期間

Q 利用期間の延長は考えていないのか。

A 利用期間の延長を前提に検討するよう各部署に指示している。





実践クラブ  
北浦 守金 議員

### ▼合併算定替終了による市財政への影響について

Q 合併算定替終了による財政への影響額と、対策はどのように考えているのか。

A 平成二十八年度以降、五年間で約十七億五千万円が減額され、平成三十三年度は優遇措置が撤廃されるため、現行の交付額の約一割が削減されると見込まれる。今後は、行財政改革へのさらなる取り組みと、行政のスリム化、効率化を推進し、国県補助金等の特定財源や合併特例債などの交付税措置の高い起債を活用していく。また、県内十三市町で財政対策研究会を発足させ政府への要望を続けており、活動を支援する形で政権与党議員による合併市町村へ支援を求める議員連盟が設立されている。

### ▼九電の電気料金値上げについて

Q ①料金値上げによる市の負担額と、②対策はどのように考えているのか。

A ①市全体では、昨年度に比べ約千二百

万円の負担増になると見込んでいる。②省エネ七カ条を掲げ、全庁的に取り組んでいる。節電運動をさらに徹底し、光熱費の削減に努めていきたい。

### ▼諫早湾干拓潮受堤防排水門開門調査について

Q ①排水門の開門による漁場への影響と、②五年間の開門が決定されたがどのように考えているのか。

A ①環境影響評価書によれば、諫早湾湾奥部において流れや濁り等に変化が生じ、諫早湾湾奥部のアサリ漁やカキ養殖等に影響を及ぼす可能性があると考えられている。②司法判断による期間であると考えている。

### ▼予算と事業について

Q 事業への予算化はどのような経過を経て行われているのか。

A ソフト事業は、事業の必要性や緊急性などを勘案し、費用対効果を検証の上、必要な事業に対し予算化している。また、建設事業費は、長期実施計画に沿って施策の方向性を明確にし、優先順位をつけて予算化している。

### 【その他の質問項目】

◇霊南埋立土地利用計画について



実践クラブ  
生田 忠照 議員

### ▼職員給与の削減について

Q ①給与の減額の内容と、②来年四月以降も減額案を検討する考えはないのか。

A ①東日本大震災を契機に、防災・減災事業への取り組みが喫緊の課題となっており、国の要請で本年七月から平成二十六年三月まで平均七・四二%の給料減額のほか、管理職手当や地域手当、時間外勤務手当を減額する。②職員の適正な定員管理も含め、総人件費の削減に取り組んでいく。

### ▼市庁舎建設はなぜ進まないのか

Q 市庁舎建設が進まない理由は何か。

A 庁舎建設準備室を設置し、道路のつかえ問題や庁舎の位置等を早急に示せるよう、調査等も含めて進めている。

Q 道路をつけかえなくても、噴水前の市道をまたぐ形で芝生公園と現庁舎西側を一部解体して新庁舎を建設し引越すことで、仮庁舎を必要とせず、東側には大駐車場を確保することができると考えるが、市長の見解はどうか。

A 部分解体には合併浄化槽の問題があるが、提案内容には大変興味がある。大手広場の有効活用の点からも参考にしたい。

### ▼精霊流しと不知火まつりについて

Q 遺族の要望に応える形で葬祭業者が精霊船を出されている。今回、船の負担金を上げる話を聞いたが本当なのか。

A 精霊流し行事実施協議会の総会で、負担金の増額が承認され、業者には負担金と別に協力を金をお願いされたと聞いている。

Q 不知火まつりを見直して、精霊流しにもっと力を入れるべきだと思いがどうか。

A まつりのあり方も一度考える必要があると思う。その上で精霊流しについても何らかのアクションを起こしたい。

### ▼霊南埋立地を市は買うのか

Q 霊南埋立地を県から購入するという話は議会に説明がされていないが、金額と内容はどうなっているのか。

A 平成二十二年度時点での価格は約一億四千万円である。利活用について県と協議中であり、協議が整った後、予算も含めて議会へ説明したい。

### 【その他の質問項目】

◇二〇一三長崎しおかぜ総文祭



凡人くらぶ  
清水 宏  
議員

### ▼船津高潮問題の短期計画と長期計画

Q ①短期計画と、②長期計画についての地元の意見はどうか。

A ①今年度、県において招き扉の設置工事を発注しており、白水川の腹づけ部護岸整備も計画されている。市でも護岸から河川へ降りる階段部分の護岸の整備を計画している。②地元説明会を開催し、島原鉄道より西側の土地かさ上げ案、護岸を整備する高潮堤防案、霊南橋付近における高潮水門と排水ポンプ案を説明した。主な意見として、個人負担を伴うかさ上げは難しい、広馬場の東側の遊水地は埋め立てたほうがよい、霊南橋付近の水門案は効果的である等の意見が出された。

### ▼認知症への対応

Q ①島原広域圏組合での認知症高齢者数

A ①高潮協議会を二カ月に一回できないか。  
A 開催回数をふやしていきたい。

と、②厚生労働省推計基準による認知症高齢者推計人数はどうか。

A ①千八百五十人、②厚生労働省では六十五歳以上の高齢者の約十五%が認知症と推計されており、それに当てはめると二千三百十人と推計される。

Q ①認知症に効く薬はあるのか。また、認知症への対応はどすればよいのか。

A 認知症には様々なタイプがある。アルツハイマー型には幾つかの薬があるが、効果的な薬がないのが現状である。また、早期診断により、治療効果が期待できるものもあり、認知症のタイプによる適切な対応ができるよう、家族を初め多くの方が認知症への理解を深めることが大事である。具体的な相談窓口として地域包括支援センター（電話六五五一〇）がある。

Q ①オレンジプランの概要と、②それに対する本市の対応はどうか。

A ①病院施設中心の認知症ケア施策から、住み慣れた地域での在宅中心の認知症ケア施策へ移行することを目指している。②広域圏組合で平成二十七年度からの次期第六次介護保険事業計画に盛り込むべく、プランに沿った取り組みを検討している。

### 【その他の質問項目】

◇時事問題



実践クラブ  
上田 義定  
議員

### ▼障がい者就労支援について

Q 障がい者就労支援についての考えは。

A 地域で自立した生活が送れるよう、関係機関と連携し、企業の協力もいただきながら、本人の希望に沿った就労支援に努めていきたい。

Q 障害者優先調達推進法が施行されたが、

①物品の調達方針、努力目標と、②目標達成のための具体的な手法をどのように考えているのか。

A ①調達物品、目標金額の集約を行い、速やかに調達方針を作成し、公表したいと考えている。②障がい者施設等から提供可能な物品や役務の情報収集に努め、全部署に情報を提供することが重要だと考える。

### ▼小・中学校のパソコンソフト導入について

Q 小・中学校のパソコンソフト導入の経緯はどうなっているのか。

A 教育用パソコンで使用する授業支援ソフトについては、二十二年度までがスカイ

メニュー、二十三年度からは機器更新に合わせてウインバードを導入している。

Q 授業支援ソフトをスカイメニューからウインバードに変更した理由は何か。

A 故障時の応急対応機能や、年度末に行う児童情報の進級処理のアフターサービスがあり、教職員の事務の軽減が図られることも考慮して選定した。

Q 本年度の選定方針はどうか。

A ウインバードとスカイメニューの二つのソフトを指定したいと考えている。

### ▼小・中学校の校区割りについて

Q 校区割りを変更する権限はどこにあるのか。

A 市教育委員会にある。

Q 住民の意向を調査し、校区の再編を研究してはどうか。

A 地域コミュニティーにも影響するため、地域を含めて多くの方々から意見を聞き、場合によっては、諮問機関等も設置して対応する必要があると考える。

### 【その他の質問項目】

◇PM2.5について



チームI  
馬渡 光春 議員

### ▼環境保全対策について

Q 本市の①不法投棄、②水質汚濁、③河川の水質検査、④窒素負荷低減計画についての現状と対策はどうか。

A ①二十四年度は三十一件の通報があった。広報掲載や看板の設置による啓発、頻繁に投棄される場所へは監視カメラを設置し、悪質な事案には県や警察と連携して対処している。②二十四年度は十四件の通報があった。家畜のし尿と思われる汚水が河川へ流入するケースが多く、市と県が共同で現地調査を行うが、原因を特定するのは難しい。③市内の二十四河川を毎年、夏と冬の年二回水質検査を実施しており、おもむね良好な状態を維持している。④島原半島窒素負荷低減対策会議で計画がまとめられている。現在、半島内地下水の定期モニタリングを実施しており、全体的には改善傾向を示している。

### ▼島原道路について

Q 全体の進捗状況と、出平町から有明町間の今後の整備計画の予定はどうか。

A 延長約五十キロメートルのうち、深江町から出平町までの約十二キロメートルが完成している。本年度、出平町から有明町間の約三キロメートルが補助事業として採択された。ルートに関する地元説明会は昨年十月から四回実施されている。県の事業計画によると、測量や地質調査、環境調査等を実施後、本年度内にルートを決定し、地元説明会を行う予定となっており、その後、用地取得に着手する計画である。

Q ルートについては広域農道より上だと思っていた。本年一月の説明会で広域農道の下を通る案が示されたが、どのような経緯で決定されたのか。

A 県が設置した島原半島の交通機能強化検討委員会で検討され、広域農道に沿ったルートが最適であるとの提言を受けて、現在のルート帯が示されたこと認識している。

Q 提示されたルート帯には優良農地が広がっており、農業後継者も多い地域である。また、大三東地区では今後、基盤整備の計画もある。市長の見解はどうか。

A 優良農地への影響が最小限に抑えられるよう、県と一体となり農業振興を確保しながら道路問題に取り組んでいきたい。

### 【その他の質問項目】

◇島原城の記念事業について



日本共産党  
島田 一徳 議員

### ▼墓地について

Q 墓地の管理形態と、墓地の空き状況はどうなっているのか。

A 市の管理墓地、寺院の管理墓地、地域で管理している慣習墓地があり、有明地区に五十三区画の空きがある。

Q 有明地区の墓地の、①受け付け方法と②待機者の状況はどうか。

A ①申し出と条件が合えば使用を許可している。②待機者は十四名であり、平成十八年から待っている方もいる。

Q 有明地区の住民の要望に応え、墓地を拡大する考えはないのか。

A 墓地希望者の状況を把握しながら対応していく必要があると考えている。

### ▼住宅リフォームについて

Q 住宅リフォーム支援事業は、大きな経済効果を持っているが、実績はどうか。

A 補助額三千八百万円に対して、総工事費は四億五百万円となっており、十倍以上の効果があると思っている。

Q ①事業期間の延長、②対象範囲を拡大する考えはないのか。

A ①平成二十六年以降も継続する方向で検討している。②他の自治体の例も参考に研究したい。

### ▼島原道路について

Q 優良農地を守るため、国有地が多い山側にルート変更を求める考えはないのか。

A 道路関係部門と農業関係部門が密接な連携を図りながら、市と県が一体になって優良農地への影響を最小限に抑えられるよう取り組む必要があると考えている。

### ▼市庁舎建設について

Q 道路のつけかえ問題は、具体的な図面をもとに県と協議をされたのか。

A 現在、具体的な図面を作成しており、それをもとに、近い時期に最終的な判断をすることになると考えている。

Q 仮庁舎移転で市民に迷惑がからないように、新庁舎建設後に旧庁舎を解体するような方法がないか。

A 旧庁舎を一部解体して新庁舎を建設し、残った庁舎で業務をする方法などもあると思うので、検討を進めていきたい。





平成会  
濱崎 清志  
議員

【関連質問】

▼事業の実施に伴う予算について

Q 敬老事業の高齢者無料入浴サービスについて、期間延長を前提に担当部署に指示をしたという答弁があったが、延長分の経費は今年度の予算に計上されているのか。

A 当初予算での計上は昨年度実績に基づいた金額であり、期間延長に伴う追加予算が必要となれば、今後補正予算をお願いすることになると考えている。

Q 予算の裏付けがあつて、初めて事業は実施できるものと考えているが、今回の方法について市長の考えはどうか。

A 事業と予算は表裏一体で行われるものだと認識している。敬老無料入浴期間については、短期間のために混雑している状況や、通常の利用者にも影響が出ているのではないかという心配もあり、期間延長の検討を指示した。今年度の実績を見て、次年度からは当初予算に計上するべきだと考えている。

# 委員会活動

6月26日及び7月1日の本会議で付託された議案について、総務委員会（6月26日、7月2日）、産業建設委員会（7月3日）、教育厚生委員会（7月4日）、予算審査特別委員会（7月8日）を開き審査しましたので、概要をお知らせします。

また、閉会中に開催した行財政改革特別委員会の審査状況をお知らせします。

## 総務委員会

付託された議案三件を審査しました。

○第四十号議案 一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例

一般職の職員の給与の減額を特例的に定めるため、この条例を制定しようとするもの。

「質疑」減額される給与総額の内訳は。

「答弁」 給料が約八千六十万円、職員手当が約百五十八万円で、合計は約八千三百万円になる。それに共済費を合わせると約一億百万円の減額と試算している。

「質疑」 級別の減額金額と、全体の平均減額金額は幾らか。

「答弁」 七月から三月までの九カ月間で、各級別の平均は一級が約八万円、二級が約九万五千円、三級が約十九万八千円、四級が副主任で約二十三万五千円、主任で約二十五万六千円、五級のグループ長が約二十七万四千円、六級のグループ長が約三十三万二千円、部長級が約三十四万三千円であり、全体では平均約二十一万八千円の減額となる。

このほか、出向中の職員の取り扱い、国家公務員との比較等について質疑がなされ、採決の結果、原案のとおり可決することに決定しました。



○第四十二号議案 あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について

島原市津町地先の長崎県施工の島原港海岸保全施設整備事業に伴う公有水面埋立てにより生じた土地について、議会の議決を経て確認し、町の区域を変更しようとするもの。

「質疑」 埋め立てに係る市の財政負担があるのか。

「答弁」 市の財政負担はない。

「質疑」 護岸工事は県が実施しているが、補修や修繕はどこが工事をするのか。

「答弁」 県が行うことになる。採決の結果、原案のとおり可決することに決定しました。

○第四十二号議案 島原地域広域市町村圏  
組合規約の変更について

島原地域広域市町村圏組合の執行機関の  
選任の方法を変更することについて、規約  
の変更が必要となるため、地方自治法第二  
百九十条の規定により関係地方公共団体の  
議会の議決を経ようとするもの。

【質疑】 組合規約の変更に至った経緯は。

【答弁】 合併により構成団体が三市になっ  
た。今後の広域行政課題に対して的確  
な対応を行うためには、三市それぞれ  
が責任を担っていくことが必要であり、  
管理者の任期は、二年間として三市の  
市長で行うことで合意されたと聞いて  
いる。

【質疑】 これまでの管理者の選任方法ほど  
うなっていたのか。

【答弁】 立候補者が一人の場合は、組合議  
会で承認を受ける。立候補者が二人以  
上の場合、三市長で調整し、調整が  
付かない場合は組合議会の投票により  
選任される。なお、これまでの歴代の  
管理者は島原市長だったが、今回初め  
て南島原市長が選任された。

このほか、任期中に市長が交代した場合  
の取り扱いについて質疑がなされ、採決の  
結果、原案のとおり可決することに決定し  
ました。

産業建設委員会

産業建設委員会は、今期定例会での付託  
案件はありませんでしたが、委員会を開催  
し、理事者から所管事務内容の説明と、産  
業振興部及び水道局からの報告事項を受け、  
行政視察について協議しました。

その後、所管事項の現地調査として、現  
在実施されている島原城石垣復旧工事と、  
天守閣の耐震化工事の状況について現地調  
査を行いました。



▲天守閣の耐震化工事について説明を受ける委員

教育厚生委員会

付託された議案一件と請願一件を審査し  
ました。

○第四十一号議案 島原市福祉医療費の支  
給に関する条例の一部を改正する条例

福祉医療費の支給対象者の範囲を拡大す  
るとともに、身体障害者手帳三級所持者等  
の福祉医療費の支給率を見直すため、この  
条例を改正しようとするもの。

【質疑】 支給率が三分の二から二分の一  
に変更される対象者と、新たに支給対象  
となる要件はどうなっているのか。

【答弁】 支給率が変わるのは、身体障  
害者手帳三級と療育手帳B1の所持者  
である。新たに支給対象となるのは、  
精神障害者保健福祉手帳一級の所持者  
の通院に係る医療費、七十五歳以上で  
身体障害者手帳三級の所持者と療育手  
帳B1の所持者、DV（ドメスティッ  
クバイオレンス）保護命令を受けた者  
の子供の面倒を見ている親及びその子  
供も対象となる。

このほか、裁判所によるDV保護命令の  
状況、改正に伴う市の財政負担や周知方法、  
障害年金への影響等について質疑がなされ、  
採決の結果、原案のとおり可決することに  
決定しました。

○請願第一号 少人数学級の推進などの定  
数改善と義務教育費国庫負担制度二分の一  
復元をはかるための、二〇一四年度政府予  
算に係る意見書採択の要請についての請願

少人数学級を推進すること、教育の機会  
均等と水準の維持向上をはかるため、義務  
教育費国庫負担制度の負担割合を二分の一  
に復元することを求める内容の意見書を国  
に提出願いたいというもの。

【質疑】 本市の少人数学級の状況は。

【答弁】 少子化により、三十五人以上の学  
級は、市全体で小学校三、四、五年生  
に六学級ある。（紹介議員答弁）

このほか、この請願を毎年出すことの方  
味について質疑がなされ、採決の結果、採  
択することに決定しました。



## 予算審査特別委員会

付託された議案一件を審査しました。

○第四十四号議案 平成二十五年度島原市  
一般会計補正予算(第一号)

二十九億五千八百八十万円を追加し、予算の総額を二百十億二千六百四十五万八千円とする。

〔質疑〕高潮問題の根本的な解決に向けての取り組み状況はどうか。

〔答弁〕現在、抜本的な対策の計画を作成している。まず実現性のある計画を作成し、県とも協力しながら、今後何年もかけて取り組んでいかなければならない事業だと考えている。

〔質疑〕実践的防災教育総合支援事業は、具体的にどのようなことをするのか。

〔答弁〕対象は三会地区の小・中学校であり、岩手県釜石市へ子供二名、先生二名をボランティアとして派遣することや、四国方面への先進校視察を予定している。九月には防災宿泊体験として、非常食を食べて学校で一晩を過ごすという事態を想定した体験も計画している。また、防災に関する授業の実施や、来年一月には取り組み内容の実践発表を予定している。また、市内全小・中学校で作成している避難訓練のマニュアルを県の専門アドバイザーに見直しをもらい、それに基づいた避難訓練を

実施する予定である。

〔質疑〕今回の国の内示により本市の社会資本整備総合交付金の補助金額は幾らになるのか。

〔答弁〕道路橋りょう費では千八百万円を当初見込んでいたが、今回の内示により七百八十万円の増額となり、補助金の総額は二千五百八十万円となる。

このほか、生活保護関係について質疑がなされ、採決の結果、原案のとおり可決することに決定しました。

## 行財政改革特別委員会

三月定例会において設置した行財政改革特別委員会は、閉会中の四月二十二日、五月十六日及び六月十四日に委員会を開催しました。

委員会では、本市の行財政運営の改革に係る取り組みとして、組織機構の見直しや島原市第四次行政改革大綱実施計画の検討などのほか、市庁舎建設事業、島原半島ジオパークと島原半島観光連盟の運営状況、国体実行委員会への運営費補助金、霊南埋立地の問題、電子決裁導入後の状況等について当局から説明を求め、議論を行いました。委員からは当局に対する提案や意見が出され、今後の対応や改善を求めました。

## 島原半島市議会議員合同研修会を開催

去る七月十六日、南島原市において「第二回島原半島市議会議員合同研修会」を開催しました。

この合同研修会は、島原半島という地理的に不利な条件や諸問題を克服し発展していくためには、市民を代表する半島三市の議員が情報を共有し、協働していくべきであるとの共通認識のもと、昨年からの開催しているものです。

研修会では「半島振興法の延長及び拡充についての取り組み」をテーマに、島原半島の現状、平成二十七年度末で期限切れとなる半島振興法の改正延長に向けた取り組み状況について、長崎県企画振興部から講師を迎え、説明の後質疑応答を行い、半島振興法と島原半島の現状についての理解を深めることができました。その後、三市議会の概要についての説明があり、充実した研修会となりました。今回の研修会を今後の議員活動に生かし、郷土発展のため、各種施策の提言に努めてまいります。



▲半島振興法についての説明



▲研修会のようす



**四月臨時会の概要**

四月臨時会は、四月二十二日に開会しました。

地方税法の一部改正に伴い、島原市税条例の一部改正と島原市国民健康保険条例の一部改正の議案が提案され、委員会付託を省略し、いずれも原案どおり可決しました。



**議会だより「音声版・点字版」のご案内**

議会の活動状況を市民の皆様にお伝えし、身近に感じていただくため、定例会ごとに年四回「島原市議会だより」を発行し、市内各世帯に配布しています。

また、目の不自由な方向けに、音声版、点字版を、島原声のボランティア「ゆずの会」及び、島原点訳サークル「がんばっ点」の皆さんのご協力により、それぞれ発行しています。

音声版、点字版をご希望の方は、福祉保健総務グループ福祉班（電話六三一一一一内線二七三）へお申し出ください。

**《 議会のうごき 》**

閉会中の活動や議会選出各種委員の会議、行政視察などの状況をお知らせいたします。議会日程や各種会議等の今後の予定は、島原市議会ホームページで公開しています。

期 日	内 容
3月25日	長崎県病院企業団定例会
3月26日	島原地域広域市町村圏組合議会定例会
	島原市社会福祉協議会理事会・(財)島原市教育文化振興事業団理事会 東京都港区議会 視察来島 (防災教育について)
3月27日	農業委員会総会・島原市土地開発公社理事会
3月28日	島原市地域公共交通協議会・島原城振興協会理事会
4月 1日	島原市表彰式
4月 7日	島原大変遭難者慰霊祭
4月11日	長崎県市議会議長会総会
4月15日	杉谷地区戦没者慰霊祭
4月17日	議会運営委員会・議会だより編集委員会
4月19日	民生委員児童委員協議会連合会定期総会
4月22日	4月臨時会・行財政改革特別委員会
4月24日	兵庫県豊岡市議会 視察来島 (防災対策について)
4月25日	九州市議会議長会理事会及び総会
	宮城県石巻市議会 視察来島 (雲仙岳災害記念館について)
4月26日	農業委員会総会
5月 8日	佐賀県玄海原子力発電所視察
	乙訓市町議会議長会 視察来島 (防災行政について)
5月 9日	長野県議会 視察来島 (歴史と文化を生かした観光都市づくりについて)
5月15日	佐賀県神埼市議会 視察来島 (地域児童見守りシステムについて)
5月16日	行財政改革特別委員会
5月19日	関東島原半島会65周年記念大会
5月21日	全国温泉所在都市議会議長協議会役員会及び総会・九州市議会議長会第2回理事会
5月22日	第89回全国市議会議長会定期総会
5月23~24日	九州治水期成連合定期総会
5月27日	長崎がんばらんば国体島原市実行委員会総会
	農業委員会総会・島原市社会福祉協議会理事会
5月28日	県央県南広域環境組合議会臨時会
5月30日	九州(長崎)新幹線建設県南地域促進期成会総会・しまばら温泉不知火まつり振興会総会
	がんばらんば国体500日前イベント(グラウンドゴルフ大会)
5月31日	防災対策現地視察
6月 3日	雲仙普賢岳噴火災害殉難者追悼法要
6月 7日	第60回全日本勤労者弓道選手権大会開会式
6月10日	長崎新幹線建設期成会等合同総会
6月14日	行財政改革特別委員会・総務委員会
6月15日	香港ジオパークとの交流記念式典
6月19日	島原温泉観光協会定期総会
6月20日	島原市民生委員推薦会・島原市地域公共交通協議会
6月21日	議会運営委員会

## 4 月 臨 時 会 付 議 事 件

事 件 名	議 決 結 果
第38号議案 島原市税条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
第39号議案 島原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原 案 可 決

## 6 月 定 例 会 付 議 事 件

事 件 名	議 決 結 果
報告第4号 継続費繰越計算書の報告について	報 告 可 決
報告第5号 繰越明許費繰越計算書の報告について	報 告 可 決
議長の辞職について	許 可 挙 可
島原市議会議長選挙について	許 可 挙 可
副議長の辞職について	選 任 可 決
島原市議会副議長選挙について	選 任 可 決
島原市議会議会運営委員会委員の選任について	選 任 可 決
島原市議会常任委員会委員の選任について	選 任 可 決
行財政改革特別委員会委員の辞任について	許 可 任 定
行財政改革特別委員会委員の選任について	許 可 任 定
議席の一部変更について	決 可 決 決
第40号議案 一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例	原 案 可 決
第41号議案 島原市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
第42号議案 あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原 案 可 決
第43号議案 島原地域広域市町村圏組合理約の変更について	原 案 可 決
第44号議案 平成25年度島原市一般会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
第45号議案 島原市教育委員会委員の任命について（宮原照彦氏）	原 同 同 意
第46号議案 島原市教育委員会委員の任命について（森みずき氏）	原 同 同 意
第47号議案 島原市監査委員の選任について（馬場勝郎議員）	原 同 同 意
島原地域広域市町村圏組合理議会議員の選挙について	選 挙 可 決
県央県南広域環境組合理議会議員の選挙について	選 挙 可 決
島原市農業委員会委員の推せんについて	推 選 可 決
請願第1号 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願	採 択 可 決
委第4号議案 30人以下学級実現及び義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書について	原 案 可 決
委第5号議案 ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書について	原 案 可 決
委第6号議案 合併算定終了後の新たな財政支援措置を求める意見書について	原 案 可 決
議第3号議案 島原市議会議員の議員報酬の特例に関する条例	原 案 否 決
議員派遣について	決 定

### 編 集 後 記

気象予報士の森田正光さんによると、今年は「千年に一度の千年猛暑」だそうで、連日暑い日が続いております。

節電の夏も三年目となり、ご家庭や職場でも節電に取り組まれていることと思いますが、議会だよりが皆様のお手元に届く頃には、少しは過ぎやすくなっていると思っております。

今定例会では、正副議長の改選が行われ、各委員会も新たな構成でスタートしました。今後とも市民の皆様に分かりやすく親しみやすい紙面作りに努めてまいります。

議会に対する市民皆様のご意見等をお寄せください。

#### 議会だより編集委員会

- |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 委員 本多 秀樹 | 委員 種村 繁徳 | 委員 松坂 昌應 | 委員 永尾 邦忠 | 委員 大場 博文 | 委員 北浦 守金 | 委員 中川 忠則 | 委員 上田 義定 | 委員 園田 智也 |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|

議会だより編集委員は議会運営委員のほか、定例会ごとの会議録署名議員で構成されています。